

地方の時代にふさわしい個性あるまちづくり

56年度一般会計は前年度より1.6%減の 61億4,100万円

56年度の市の予算が決まりました。昨年度予算と比べ、9,700万円(1.6%)減の61億4,100万円となっています。15年ぶりの前年度よりも少ない予算となりましたが、みなさんからの税金や、国県からの支出金などで得たお金を有効に使おうと、いろいろ考えながら配分し、この予算は組まれています。消費的な経費を極力抑さえ、学校建設などの投資的経費を増やし、積極的に市政を推進していきます。3月定例会議最終日の28日、56年度予算は賛成多数により可決され、今月から新しい仕事に向かつてのスタートが切られました。では、今年度予算を2ページから7ページにわたって、詳しくお知らせします。

市の予算は、一年間にやらなければならぬ仕事と、そのお金の確保という意味では、みなさんの家計のやりくりに似ています。しかし、その予算額が何十億というように膨大になると、ちよつとピンときませんね。そこで、わかりやすく白根市の台所を紹介してみよう。

前年度比減は四十一年度以来十五年ぶり
五十六年度一般会計当初予算は、六十一億四千百万円で、五十五年当初より九千七百万円(一・六%)減っています。前年度と比較して、予算減となったのは、四十一年度以来十五年ぶりのことです。

これは、景気の動向から市税の大幅な伸びは望めず、地方交付税の増収も期待できないこと、学校建設など大事業にあてられる財源は、大規模校の建設が一段落したことにより減り、市債(借金)もこれ以上増やせないことが大きな要因です。

3万4千 市民の台所

市税収入二八・三% と乏しい財政基盤

歳入(収入)の中で、大きなウエイトを占めるのが、市税と地方交付税です。市税は私たち自治体にとっては、一番重要な財源です。しかし、白根市の場合、二八・三%の十七億三千四百九十七万円しかありません。そこで、不足する財源を確保するために、国から地方交付税を受けています。地方交付税は地方自治体の行政水準を一定に保つため、国が財政力の低いところに交付するもので、いわば親が息子のめんどうをみてやるのと同じです。また、不足する財源を確保するために、市債と呼ばれる借金をして、みなさんの暮らしを守る仕事をしているわけです。

てこそ、価値のある仕事ができると、市では精いっぱい努力を続けています。

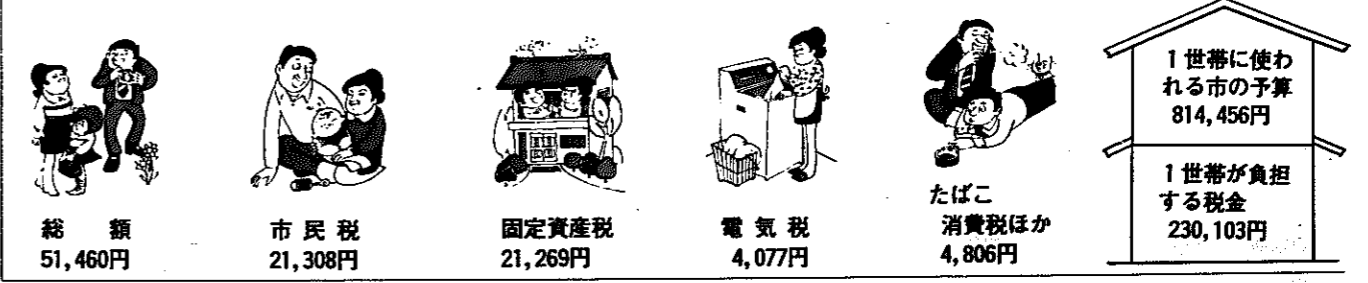
許される範囲内で 借金も積極的

住みよいまちづくりこそ、私たち自治体に課せられた使命と考えるとき、許される範囲内の借金も積極的に利用していかなくてはなりません。学校建設のように、長い間使用できる施設にあてられるものは、長期にわたって少しずつ返していくわけで、後の世代の人にも建設費を負担していくことになり、税負担の公平からも合理的といえます。一方、借金の元金や利息などを返済するのが公債費で、今年度予算に占める割合は、二・六%と次第に高い伸び率となっています。

56年度	61億4,100万円
55年度	62億3,800万円

市税	17億3,497万円 (28.3%)
地方交付税	13億3,000万円 (21.7%)
国庫支出金	9億5,751万円 (15.6%)
市債	9億2,940万円 (15.1%)
県支出金	4億0,481万円 (6.6%)
諸収入	2億8,479万円 (4.6%)
分担金 負担金	1億4,392万円 (2.3%)
繰入金	1億3,100万円 (2.1%)
地方譲与税	7,900万円 (1.3%)
自動車取得 税交付金	6,000万円 (1.0%)
使用料、手 数料ほか	8,558万円 (1.4%)

市民1人が負担する税金 (人口 33,715人) 51,460円



企業会計 都市ガスは今年度で全市供給へ

ガス事業

総収益 7億4,840万円
総費用 7億4,786万円

四十九年から取り組んできた都市ガス拡張事業は、最終年度を迎えました。今年度の供給戸数は四百五十二戸、一億九千七百六十四円の事業費を計上しています。この拡張工事を終える

と、全市供給を完了することになります。このほか、供給区域の需要増加からガスパイプの敷設や、腐朽したガスパイプの取り替え工事を、八千七百十五万円で行います。ガス事故防止については、ガスパイプや器具などのガスもれ検査を実施し、特に無線装置を導入し、保安に万全をつくしていきます。

水道事業

総収益 6億1,096万円
総費用 5億7,744万円

現状のままでは、公共事業として経費に支障をきたすことから、平均五・四四%の料金改定を行い、経営の健全化をはかっています。今年度は配水管の新設や、老朽による配水管の取り替えを、五千四百七十五万円で行います。すでに基幹的な建設を終え、維

特別会計 国保会計

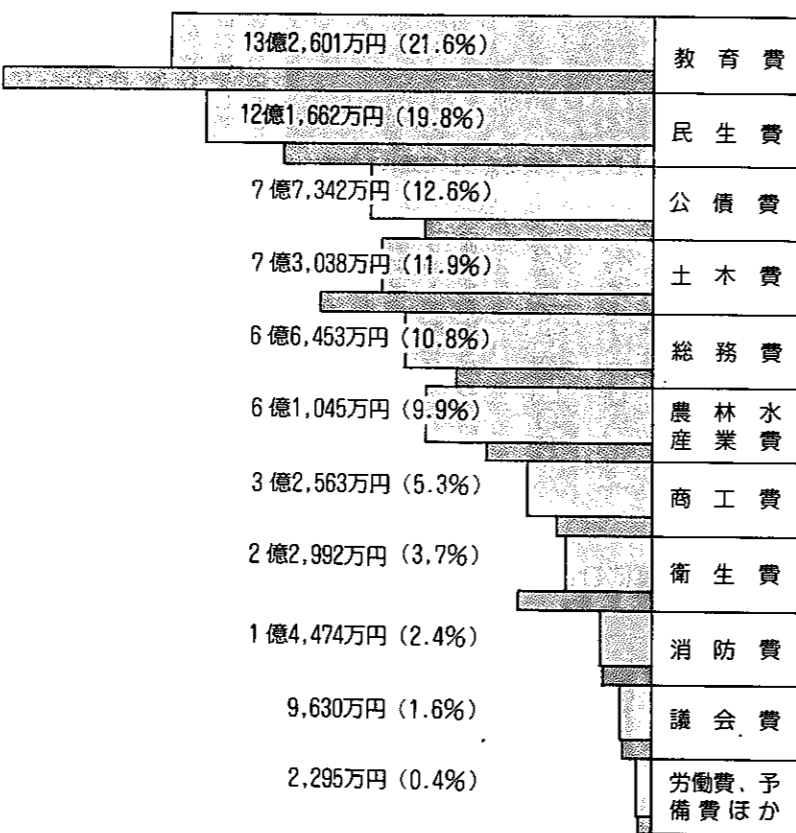
持管理の段階に入っていますが、みなさんの家庭の給水に支障のないよう、整備に努めます。

予算総額 15億1,664万円

国民の平均寿命が伸び、高齢化社会へ移行しています。被保険者の減少と、医療費の増大で、国民健康保険財政の運営は、厳しさを増しています。

今年度は、歳入歳出それぞれ一七・一四%増の一五億一千六百六十四万円としました。歳出で一番大きな割合を占めるのが保険給付費です。過去三年間の実績と、医療費も高くなっていることから、十四億二千三百六十三万円を計上し、医療費の改定も予測されることから、二千七百九十九万円を予備費としてあげています。被保険者には、広報活動、医療費通知などを通じて、国保事業の趣旨普及と理解を求め、健全な国保運営に努めます。

予算のうちわけ



市民1人に使われる市の予算 (人口 33,715人) 182,144円

